

徳島市から地域経済振興策の

取り組みの視察に来られました

8月4日午後から徳島市議会議員の船越智子（日本共産党）さんが吹田市の地域経済振興策について、吹田市や吹田民商の取組を学びたいと視察に来られました。吹田民商からは桑島副会長はじめ6名が対応しました。船越議員は吹田民商の「いんぷおめーしょん」や、吹田市産業振興条例制定過程とその後市の施策や民商の運動を紹介した「中小企業振興条例で地域をつくる」（自治体研究者）を事前に読んで来所されていました。その上で、① 地域循環型経済の活性化の具体的な施策について、吹田の取組や徳島市へのアドバイスを。② 民商や市民や業者の声を条例（行政）に活かす・届けるときの工夫やポイント注意点について、等、徳島市の振興条例の活用を意識した10点の質問をいただきました。それに西尾常務理事が吹田市の施策や吹田民商の行政に対する運動を紹介したりしながら回答しました。船越市議の視察準備を通して徳島市の振興条例を初めて知ることができました。数々の先駆性を持っている素晴らしい条例であることがわかり有意義な懇談会となりました。



関西建設研究・交流集会

ダンピング問題解決に向けた取組を報告

第19回関西建設研究・交流集会が8月6日神戸市で開催されました。吹田民商からは事務局4名が数年ぶりに参加しました。全体では官公需に係る国家公務員や地方公務員の労働組合、ダンピングや生コンの労働組合、一人親方の労働組合などから60名余が参加されていました。今年の集会テーマは「建設産業の再生と発展の方策2011・2012」を現場の視点から検証する」でした。集会実行員会からの要請で西尾栄一常務理事が「吹田市造園業務のダンピング問題解決に向けた取組」を報告しました。建設産業では品質確保の懸念、維持管理や除雪、防災、応急復旧に支障をきたすとのことで「建設産業の再生と発展の方策2011」を策定して建設産業の担い手対策に取り組んできまし



た。しかし、積算単価がひと頃より4割も加算されているにもかかわらず末端労働者の賃金が上がらない実態や非正規労働者が増大する実態が報告されました。その差額をゼネコンが得ていることも明確になりました。国土交通省がここに切り込まない限り、建設産業の担い手問題は解決できないだろうと思われました。そのような厳しい環境下であってもダンピングや生コン労働者が労働組合に結集して団結して様々な成果を挙げていることに感動しました。分散会討論では、吹田民商として建設産業の非正規化や外注化が進行する背景に消費税問題があることや地域経済振興条例との関係でも考えていく必要があるのではないかと問題提起を行いました。

日田民商からお礼の手紙をいただきました

吹田民主商工会 御中

この度の九州北部豪雨での被害に際しまして、早々の義援金を賜りましたこと、まずは厚く御礼申し上げます。今回の豪雨では、日田民商会員の約1割に上る約30名の方が被災されました。あっという間に河川が氾濫し、自宅1階部分が濁流にのみこまれ、避難できずに2階部分で一夜を過ごした会員さんや工具や商品が濁流に浸かり、休業を余儀なくされる会員さん、そして田畑への土砂流入や崩落で農作物の収穫が皆無になり、途方に暮れる会員さんもいらっしゃいます。

しかし、連日の報道でもご存知かとは思いますが、孤立集落も解消され、少しずつ道路やライフラインも復旧し始めております。また、多くボランティアの方が訪れて被災地での復旧作業に尽力して頂いており、被災された会員さん宅にも多くの方が訪れ、「予想より早く復旧できた。大変助かった」と喜んでおられます。その姿に感謝の念が付きません。

今回の豪雨の被害は、前回の豪雨災害をはるかに超え、復旧には長い年月がかかるとおられます。日田民商は災害以前への復興とそれ以上の発展を目指し、尽力してまいります。

取り急ぎ書面にて御礼申し上げますこと、どうぞお許してください。吹田民主商工会の益々のご発展を心より祈念いたします。

伝言板

国保料減免・分納相談会

9月7日（木） 昼2時00分 市役所1階ロビー

相談を希望される方は、事務所へ事前に電話をお願いします。

経営・異業種交流会

9月8日（金） 夜7時 民商会館

仲間の実践から学びたい人はだれでも参加できます。事前にご連絡ください。お店のチラシや名刺をご持参ください。

会費集金は会員の心をあつめる活動です 毎月10日までには集めましょう
 商工新聞は経営のヒント・いんぷおめーしょんの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう